

萩 大輔教授略歴

大正三年四月八日 鹿児島県薩摩郡樋脇町塔之原三七二

に出生

昭和九年三月 東京高等学校文科甲類卒業

同 一三年三月 東京帝国大学法学部法律学科卒業

同 一三年三月 鹿児島県樋脇中学校教諭

同 二五年四月 鹿児島県樋脇高等学校教諭

同 二七年八月 鹿児島大学助手文理学部

同 三〇年一月 鹿児島大学講師文理学部に昇任

同 三七年四月 鹿児島大学助教授文理学部に昇任

同 四〇年四月 鹿児島大学助教授法文学部（民事訴訟法）

同 四二年四月 鹿児島大学教授法文学部（民事訴訟法）に昇任

同 五四年四月 鹿児島大学大学院法学研究科長

同 五五年四月 停年により退職

業 績 目 録

- (一) 著書
- 今日の法学 現代ジャーナリズム出版会 昭和四四年
- (二) 論文
- (1) 民事裁判の基準としての条理について 鹿児島大学文学部「社会科学報告」第一号 昭和二九年
- (2) 判決と権利 鹿児島大学文学部「社会科学報告」第二号 昭和三〇年
- (3) 経験則違背は上告理由となるか 鹿児島大学文学部「社会科学報告」第三号 昭和三一年
- (4) 裁判批判について 鹿児島大学文学部「社会科学報告」第四号 昭和三二年
- (5) 優先権の目的となっている金銭債権の転付命令 鹿児島大学文学部「社会科学報告」第五号 昭和三三年
- (6) 登記の推定力と占有の推定力 鹿児島大学文学部「社会科学報告」第七号 昭和三五年
- (7) 自由と慣習 「別冊ジュリスト続判例百選」昭和三五年
- (8) 『ケースブック民事訴訟法』 有信堂 昭和三六年
- (9) 頼母子講の当事者能力 「法学協会雑誌」第七九卷三号 昭和三七年
- (10) 法定代理人と訴訟代理人の対比 「別冊ジュリスト法学教室6」 昭和三八年
- (11) ケーゼルのアストラント(1) 鹿児島大学文学部「社会科学報告」第一号 昭和三九年
- (12) 自由と慣習、判決の成立期、受継申立をすべき裁判所 「別冊ジュリスト民事訴訟法判例百選」昭和四〇年
- (13) ケーゼルのアストラント(2) 鹿児島大学法文学部「法学論集」第一号 昭和四〇年
- (14) 遺言者生前の遺言無効確認の訴の適否 「別冊ジュリスト家族法判例百選」 昭和四二年

- (15) 双務契約の立証責任 鹿見島大学法文学部「法学論集」第三号 昭和四二年
- (16) 仏法におけるアストラントについて(1) 鹿見島大学法文学部「法学論集」第四号 昭和四三年
- (17) 仏法におけるアストラントについて(2) 鹿見島大学法文学部「法学論集」第五号 昭和四四年
- (18) 不当な確定判決に基づく強制執行と不法行為の成否「ジュリスト増刊昭和四四年度重要判例解説」昭和四五年
- (19) 仏法におけるアストラントについて(3) 鹿見島大学法文学部「法学論集」第八号 昭和四五年
- (20) Adhemar Esmein, L'origine et la logique de la jurisprudence en matière d'astreintes
「民事訴訟雑誌」第一七号 昭和四六年
- (21) 判決の成立、判決の言渡方式 「別冊法学セミナー基本法コンメンタール民事訴訟法」 昭和四七年
- (22) 遺言者生前の遺言無効確認の訴と確認の利益
「別冊ジュリスト家族法判例百選(新版)」 昭和四八年
- (23) 証人と鑑定人 『演習民事訴訟法(上)』 青林書院新社 昭和四八年
- (24) 手形異議訴訟 『演習民事訴訟法(下)』 青林書院新社 昭和四八年
- (25) 贈写と否認 『演習破産法』 青林書院新社 昭和四八年
- (26) 遺言者生前の遺言無効確認の訴と確認の利益
「別冊ジュリスト家族法判例百選(新版・増補)」 昭和五〇年
- (27) 法律上の推定、文書提出命令、訴の単純併合、再審 『民事訴訟法の基礎(入門編)』 青林書院新社 昭和五〇年
- (28) 和議債権による認可後の相殺 「別冊ジュリスト倒産判例百選」 昭和五一年
- (29) 訴訟能力の欠缺の訴訟法上の効果 「ジュリスト増刊民事訴訟法の争点」 昭和五四年
- (30) 未成年者の訴訟上の地位、訴訟能力と弁論能力の差異 「別冊法学セミナー民事訴訟法」 昭和五

五年

(31) 船舶に対する強制執行 『講義民事執行法』 青

林書院新社 昭和五六年

(32) 無権代理人がした訴訟行為の一部(控訴提起行為)

追認の可否 「法学教室」第五号 昭和五六年

(33) 判決の成立、判決の言渡方式、言渡期日 「別冊

法学セミナー基本法コンメンタール新版民事訴訟

法」 昭和五六年